

がん在宅療養フォーラム 2025 大阪

参加無料
要事前登録

いつでも頼れるがんの情報と相談先
探す、選ぶ、そして活用する

2025/2/23 日祝 14:00~16:30

会場とオンラインのハイブリッド開催

会場開催：大阪医科薬科大学 本部北キャンパス(看護学部)講堂 定員200名
(大阪府高槻市八丁西町7-6)
<https://www.ompu.ac.jp/about/facilities/campusmap.html>

オンライン開催：ウェビナー形式(ハイブリット方式) 定員500名



会場周囲に駐車できる一般駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

診断技術や治療法の進歩により、がん医療は飛躍的な発展を遂げています。一方で、通院期間が長くなったり、治療に伴う副作用や後遺症のためのケアが必要になったり、生活面や経済的な面、人間関係を含めて不安や心配ごとに悩むがん患者さん・家族の皆さまは多くいらっしゃいます。病気を経験した方を、治る・治らないに関わらずその人として寄り添う、支えるという考え方が広がってきています。また、最近では生成系人工知能(AI)をはじめとして、大量の情報をもとに、情報提供や相談に活用できる技術が発達してきています。フォーラムでは、信頼できる情報と相談窓口についてご紹介しながら、活用できる情報ツールや、支え合いの場、そして誰もが取り残されない支援の輪の充実について話し合います。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

開会あいさつ 藤阪 保仁(大阪医科薬科大学 医学部 内科学講座腫瘍内科学 教授)
児玉 龍彦(一般財団法人在宅がん療養財団 会長、東京大学名誉教授)

第1部 基調講演

- 1) 変わるがん医療とケア 変わらない情報とコミュニケーションの大切さ
渡邊 清高(帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科 教授)
- 2) がんのサバイバーシップの現状と課題
伊藤 ゆり(大阪医科薬科大学 総合医学研究センター医療統計室 室長・准教授)
- 3) 「わたしのための情報」を見つけない! ~当事者と医療者ができること~
松本 陽子(NPO法人愛媛がんサポート おれんじの会 理事長)
- 4) 生成系AIを活用した対話型がん相談サービス「ランタン」の可能性
佐藤 修(一般財団法人在宅がん療養財団 システムエンジニア(SE))

質疑応答 ▶ 休憩

いずれも、下記フォームから
お申し込みください。

第2部 パネルディスカッション 司会 渡邊 清高、松本 陽子

(パネリスト)

- ・池山 晴人(大阪国際がんセンター がん相談支援センター)
知ることが支えになる：がん患者と家族のためのがん相談支援センター
- ・村上 利枝(日本癌治療学会認定がん医療ネットワーク シニアナビゲーター)
知ってみよう! 利用してみよう! あなたの身近ながん相談相手!
~日本癌治療学会認定がん医療ネットワークナビゲーター~
- ・濱本 満紀(NPO法人がんと共に生きる会・NPO法人大阪がんええナビ制作委員会 理事長)
ついていけない私...(T_T) IT音痴が情報活用のリテラシーを高めるには
- ・伊藤 ゆり
- ・佐藤 修

全体ディスカッション

閉会あいさつ 児玉 龍彦

参加
申し込み

会場 定員 200名 / オンライン(Zoomウェビナー) 定員 500名

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_adlm_Q-0SCaDwPJ7gBu6EA

対象：がん患者さんご家族、支援者の方、医療・保健・福祉・介護・行政従事者、患者さんの療養支援に関わっている方はじめ、どなたでもご参加いただけます。



2月18日(火)までに名前、所属、メールアドレスをご登録ください。二次元コードからスマートフォンでお申し込みいただけます。

お問い合わせ

一般財団法人在宅がん療養財団お問い合わせフォームより
お問い合わせください

<https://jhocc.jp/inquiry.html>



共催：大阪医科薬科大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン、一般財団法人在宅がん療養財団
後援：一般社団法人日本がんサポーターケア学会 協力：がんと共に生きる会25周年委員会、NPO法人大阪がんええナビ制作委員会、地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト

アンケート調査のお願い | お申し込みの際と終了後に簡単なアンケートへのご協力をお願いします。